

領域	基礎分野	授業科目	論理学	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師	講師所属			

授業のねらい

迅速かつ適切な判断力と明快かつ正確な伝達能力は、医療の現場では特に不可欠である。
この授業では、それらの能力の基盤となる論理的思考や表現力を学ぶ。

授業目標

推論の妥当性を支える理論の形成や構造について学び、自らの思考を検証し専門職としての科学的態度の基本を身につける。

授業概要

以下の内容を、習得状況に即して適宜組み合わせながら展開する。

〔読む〕

- ・論点の抽出と整理

さまざまなテーマの論説文や時事問題から論点を正確に読み取り、整理する。

- ・多角的な読解力

自分とは異なる立場の意見や主張を想定し、多角的な視点から事象を理解する。

〔書く〕

- ・文章構成力

論証を展開する上で必要とされる構成力を文章表現（論述）で練習する。

- ・客観性と説得力

多角的な視点から問題を照射し、判断の妥当性を検討する。また、説得力を支える論理的かつ丁寧な説明の仕方を練習する。

- ・表現力

語彙を増やし、正確な伝達に必要な表現力を養う。

〔話す・伝える〕

- ・伝達力

口頭での伝達に必要な明快さ、簡潔さを練習する。

- ・状況判断

さまざまな状況（業務報告、緊急時など）や対象（人数、年齢など）を想定し、それに応じた実践的な伝達の方法を練習する。

授業の進め方

講義、課題文（小論文）、学生作成文を題材とした討議、ディベート

教科書

毎回、教材のプリントを配付。

参考図書

授業の展開内容や学生の関心に即して適宜紹介。

評価方法

終講時 客観式テスト及び授業中に作成する課題文（100点）

試験時間は時間数に含む。